が昭和56年にウエワクに

「ニュー

が追悼の言葉を述べ、の祝詞奏上に続き、本

日本か

祝詞奏上に続き、本田会長 慰霊祭」を挙行。

ューギニア戦没者の

碑

ニューギニア戦没者合同

稲宮司

(1) 第26号 8 月 **苑池が設けられている。昨年** ギニア戦没者の碑」を中心に、 建立した慰霊公園。

26 日、

碑前において

全

者を追悼した。

戦没した15万人にのぼる戦没 ら持参した玉串を神前に捧げ



40 回記念東部 ューギニア方面慰霊巡拝団 ウエワク平和公園で 「全戦没者合同慰霊祭挙行」

(令和元年8月26日)



第 26 号

令和2年1月1日発行 長野県小県郡青木村村松 発行人 本田昌彦 印 刷 杏花印刷

長野県ニューギニア会

会長

本田

昌彦

ブナを皮切りに7ヶ

新にします。

戦後長きにわた

されぬことを切に願う」 ち、再び戦争の惨禍を繰り返 過去を顧み深い反省の上に立 る平和な歳月に思いを致し、

ع

お言葉を述べられました。

0)

が日本武道館で行われ、即位主催の「全国戦没者追悼式 その遺族を思い深い悲しみを 後初の式典で天皇陛下は「先 い命を失った数多くの人々と さて、 大戦においてかけがえのな 昨年8月15日、 即位 政 府

迎えのこととお慶び申し上げ ましておめでとうございます。 様方お元気で新しい年をお 令和初の新年を迎え、 明 í

まのお言葉を踏襲され、戦没

天皇陛下は、昨年の上皇さ

災された方々に心からお見舞 申し上げます。 まず、 昨秋の台風により被

う強い意思が伝わってくる追

替わりしても維持されると 者と平和への思いは天皇が代

11

当会8名)の参加者を得て実 8月24日より一週間、15名(内 特に40回の節目の慰霊巡拝は は予定通り実施されました。 月の現地慰霊巡拝と主な行事 返ってみますと2月の通常総 会に始まり7月の慰霊大祭8 悼式でした。 昨年度の当会の活動を振

といたします。 幸をお祈りし、 共に、皆様方のご健康とご多 同精一杯努めて参りますので 火を守り続けるため、 代への底辺の拡大につなげて ことでした。孫に続くひ孫世 さんが初めて参加してくれた 初訪問したこと、ひ孫 初期の激戦地ブナ・ギルワを きことは、ニューギニア戦 ニューギニアの伝統文化にも な国で有ることを祈念すると お願いいたします。 会員の方々の一層のご支援を 50年余継続してきた慰霊の灯 義な旅でした。今回特記すべ で慰霊祭を執り行うと共に ければと期待しています。 令和の時代も平和で穏やか 新年度の事業においては、 所期の目的を果し有意 新年のご挨拶 役員 (四世) 線 稲垣 一良

第52回通常総会 開催のお知らせ
長野県ニューギニア会の規定により、第52回通常総会
・日時 令和2年2月1日(祝)午後2時から
・会場 浅間温泉みやま荘 松本市浅間温泉3-28-6
ので参加をお待ちしております。



スケッチ画(ソナム集落)

間の日程で現地に派遣した。

長野県ニューギニア会は、

越口正一神官が同行した。

栃木県護國神社からは稲寿宮司、

(東京都)山岸真太郎さん(同)

の8名が参加。 菅浩二権禰宜.

ポポンデッタ、ウエワク、ゴロカを訪問。ゆか

旅の後

成田空港から首都・ポートモレスビーに入り、

東部ニューギニア 方面

を訪ね友好の高地民族 親善を深め



合同慰霊祭に臨む慰霊巡拝団員

京都)山岸靖志さん(軽井沢町)山岸幸子さん 会長、小池博之副会長、安川叡春幹事長ら役員 との共同催行として実施。本会からは本田昌彦 を迎えた。節目の催行ということで8名が参加。現地慰霊巡拝の旅は、昭和52年に始まり40回 慰霊巡拝団を令和元年8月24日から31日まで8 に安川はるみさん(佐久市)安川尚美さん(東 この中に英霊に対して孫、曾孫にあたる若い世 今回の慰霊団は総勢15名で、栃木県護國神社 先の大戦で散華したご 慰霊の灯火を次世代に 東部ニューギニア パカラさん一家にコイキン観音を管理する お礼の品を贈る本田会長

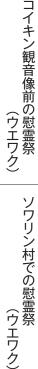
英霊に慰霊の誠を捧げ、 代から2人が同行して、

繋げ注目された。





わりの 栃木県護國神社と共催 心霊祭











子どもたちと縄跳びで交流

で慰霊祭

で慰霊祭(ブナ地区)「日本国政府建立戦没者碑」前

一跡で慰霊祭を行いました 頂に到達できました。旧 高齢の祖母のことが心配でし き、私たちが後に続きました。 を器用に使って密林を切り開 の子が、50センチ程もある刀

村人の支援により無事

きました。 未知の国・ニューギニアへ赴 私は祖母から教えられました。 亡くなったのよ」幼少の頃、 なたの曽祖父は戦争で 祖母と父からの誘いで

霊が皆を出迎えてくれた様な

不思議な光景に出合い感激

きてくれた」と喜び、私も英

したが、祖母は「父が挨拶に

性が印象的でした。 な生活の彼らは素朴か この国は何と言っても国民 牧歌的

たしました。

今回の旅で、

大変貴重な体

験をすることができま

妙な国」でもあるパプ

は農業による自給自足 アの青年たちは、大半 した。「愛くるしく奇

村では「日本人相手の りを見物したゴロカの いこなす青年や民族踊 たことからスマホを使 また、急に文明に接し 振り声をかけてきます が無邪気な笑顔で手を も車に乗っていても皆 陽気で、 歩いていて

観光ビジネスを一緒に しよう」と勧誘されま した。古代と現代が奇

真太郎 (ご英霊の曾孫) (第40回慰霊巡拝参加レポ

> され、一族は部族の為 の基盤は部族であると の生活であるが、社会

同行の皆様に心から感 ア会、栃木県護國神社 戦争の記憶が風化して に結束している。 いた長野県ニューギニ いく中で、今回の慰霊 拝の旅にご尽力頂 戦後75年が経過して、

村人の先導で八幡山を登りま ウエワクのソワリン村では、

した。10歳だという素足の女

に現地の若者と交流しました。

謝いたします。

さて、

曽祖父の戦没の地・

てが興味深く、積極的 ているのです。私は全 妙なバランスで共存し

现此の青年と交流する山岸真太郎さん

動 0) 慰 霊 0

が、

神事の最中にジャングル

の中から一匹の蝶が飛来しま

安川 (是现金属量)测量多加少第一个) 尚美 (ご英霊の孫

アの地を忘れないようにするに の尊い命が失われたニューギニ できるのか考えさせられました。

先の大戦において、15万人も

はどうすればよいのか、遺族の

て考える良い機会ともなりま 人として、また日本国民とし

国でした。 ので興味があり、 で戦死した話を聴いていました や父から、 私自身は子供のころから祖母 の言葉が必ず返ってきました。 たとき、「何をしに行くの」こ ニューギニアに行きます 友人や仕事仲間に報告し 祖父がニューギニア 訪れてみたい

く美しい海や緑豊かなジャング ライフスタイルを続けているこ 今回は慰霊の地を巡り、青 現地の人々が今も原始的な

> 動いたしました。しかし、 があることに、とても驚き、感 が発達した中で、昔ながらの国 とをまじかで見て、ネット社会 観光目的で訪れる国でないこと 出もできない治安の悪さなど、 インフラ、 整備されていない道路や社会的 も気づきました。 気軽にホテルから外 全く

が、今後私たちの世代が果たし 年に参加することができました て現地の慰霊を続けていく事が 慰霊巡拝40回という節目の

TOPIC 時の話題

る戦史に始まり、 説、映画、テレビ番組は絶えない。 が高まりつつも、戦争を描く小 して、戦争記憶の忘却への危惧 そこで、元兵士達の戦記によ 先の大戦が終わり75年が経過

が学んでいる。 を含め12か国から二万人の学生 フィジーにあり、ニューギニア るニューギニアに注目しました。 歴史を追体験しているのか。特 などを通じてどのように に「忘れられた戦場」と言われ 私の勤める南太平洋大学は 1944年フィ

> との答えが返ってくる。 年に及ぶ戦いの中で13万人もの ぬニューギニア」と言われ、三 てくれているので、友好国だ_ は過去、日本はいろいろ援助し た歴史がある。学生達は「過去 ジーは米軍と共に日本軍と戦っ 先の大戦中、「死んでも帰れ

| 太平洋戦争追体験 ギニア戦線を中心に 南太平洋大学・講師

> れた。戦場で、片腕を失 い、生還した水木しげる

代の人々が戦跡への紀行

次世

の平和があるという歴史認識は 称えたり、兵士の犠牲の上に今 病によるものでした。 将兵が戦没、その9割は飢えと 記を見ると、戦場での勇敢さを 生還した身分の低い兵士の戦 むしろ戦争を地獄の旅と

YTYYHOFEHIESES

識を強く残している。 戦争そのものに対する怒りを強 く表し、復員した後も被害者意 位置づけ、 自らを虐げた上官や

多くの原住民の生活を犠牲に 食糧を与えるなど協力もしてく したが、餓えた兵士を村に匿い、 日本軍と連合軍の死闘は、

通り、土と共に生きる素晴らし があるが、僕は、彼らを、文字 の中で、「土人という侮り言葉 い土の人という尊敬の意味で呼 んでいる」と、敬意を表している。 (昨年11月20日京都フォーラ は著書『ラバウル戦記』

ムでの講演要旨の一部を紹介)

長野県遺族会長が慰霊の

菅谷松本市長、

没者慰霊大祭報告

面

市町村長、県遺族会長など約 国会、県・市町村議会議員、 神社本殿には会員遺族を始め 野県護國神社において開催。 霊大祭は、7月28日猛暑の長 回ニューギニア方面戦没者慰 100名が参列した。 式典は、正午の大太鼓の音 野県ニューギニア会第

の活動を継続してまいりま 時代となっても可能な限りこ であると考えており、 ことが当会に課せられた責務 きた慰霊巡拝の灯を消さない 眠られています。長年続けて 現地でお迎えを待って寂しく は7万6千余柱となっており、 となります。未収容のご遺骨 慰霊巡拝が40回目の節目の年の誠を捧げます。本年は現地 470余柱の御霊に深く哀悼 りで、ここに祀られている3 れた。生還者はわずか1万余 面では15万もの尊い命が失わ 戦において、ニューギニア方 た。本田昌彦会長は「先の大 る黙祷、国歌斉唱、修祓と続 を合図に始まり、英霊に対す 奥原宮司が祝詞を奏上し 祭文を奏上した。 令和の

> 尾秀哉両代議士が挨拶した。 来賓を代表して務台俊介・杉 を述べた。 玉串奉奠の後、

での日程で現地のゆかりの地 とともに8月24日から31日ま 栃木県護國神社からの参加者 沢町)ら本会から7名が参加。 京都)、山岸靖志さん (軽井 長、小池博之副会長、安川叡 n 春幹事長、 面慰霊巡拝団の壮行会も行わ る第40回東部ニューギニア方 た。参加者は、本田昌彦会 また、今回現地に派遣され 山岸幸子さん(東

新規会員の紹介

会員を紹介いたします。 昨年度、 新たに入会された 実豊 様(坂城町)

高見沢 (順不同 御礼申し上げます。 せいただきました。 会活動用として寄付金をお寄 から慰霊大祭玉串料および当

茲に厚く

◎本年度、

次の会員の皆さま

田五松 万日 沢 信 之 輝 康 袈裟久 子 雄 男 夫 様 様 様 様 様

> 横土 若青田屋 撬木 実 9 大郎 豊 志 様様様様

大鹿歌舞伎松本公演開 県護國神社境内 ~

けられた桟敷席には、千人を 第二鳥居までの広い境内に設 護國神社で公演された。 拝殿前に特設舞台が作られ 舞伎が令和元年11月27日 国 一の重要無形文化財の大鹿

村民の皆さんが熱演した。当演では、配役、裏方衆26名の 袖萩祭文の段」。下伊那郡大 会は今回の公演を協力団体と れている歌舞伎で、今回の公 鹿村に二五〇年前から伝承さ して支えた。 演目は「奥州安達原三段目・



ある地芝居を楽しんだ。 超える観客が詰めかけ、 伝統 菒

あらゆるものにゲゲゲの模様 ツ、帽子、ノート、クッキー、 らいしか判らず残念でした。 プロで管理している・・・」く 芸員に聞いても「作品は水木 のボードでした。若い女性の学 の作品よりもパンチの弱い感じ じ図柄ながら持参したホテル さまよったことなど皆さんご存 軍、ラバウル戦線で生死の境を 本や絵はがきはともかく、シャ れの観客が土産探しで大混雑、 じだったでしょうか? 今回、会場にあったのは 文化の日とあって、子供 水木さんが先の大戦に従

地で三枚のストーリーボードに ウエワクホテルの川畑さんがカ 加工、なかの一枚がホテルに掛 ンボットに案内して、ご自分の の資料や作品の展覧会です。 の水木しげる追悼・ゲゲゲの 人生の物語を描いた原画を現 人生展を参観。少年時代から 妖怪を探訪中の水木さんを 長野市の水野美術館で開催

けてありました。これについて は会報7号でレポートしまし

がありました。

ご無理を重ねて発行して頂き ました。あらためてお礼を申 杏花印刷さん。本号も大変な 上げます。

 $\widehat{\mathbb{T}}$

Ō

動を・・」というTV放送は 皆様に、お見舞い申し上げま 理解できましたか?。 す。当時「命を守る最善の行 言葉です。 より甚大な被害を見舞われた ★台風19号による豪雨災害に 難し

との交流も無事にでき、 配された所だけに、高地民族 高原の街・ゴロカは治安が心 み出すことを期待したい。 霊の旅が新たな友好親善を生 この人たちの新鮮な感覚で慰 ら参加頂き嬉しい限り。 の旅に花を添えた。 ★四千景級の山々に囲まれた ★現地慰霊巡拝に曾孫世代か 「戦争を知らない世代の代表。 まさ

報印刷でお世話になっている 害で大きな被害を受けた当会 せても話が進まなかったこと 方面で発掘されたご遺骨に問 が問われているが、シベリア ★千曲川の堤防決壊による水 在京会員から政府に問い合わ められた日本兵の認識票で、 ★戦没者の遺骨収集の在り方 かつて現地人の敷地に埋